

豊田事業所 内部技術評価について

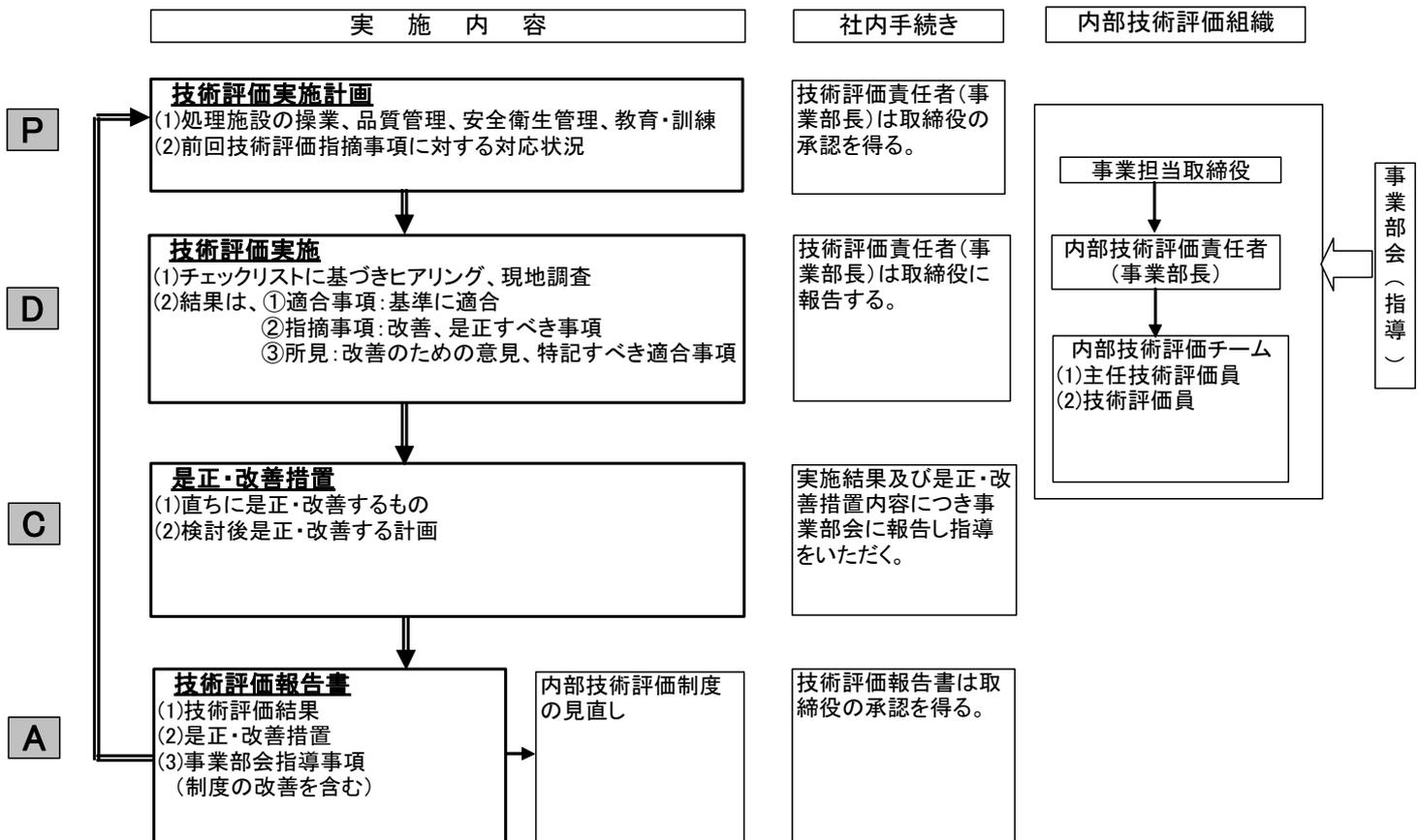
日本環境安全事業株式会社では、PCB 廃棄物処理事業の円滑な実施のため、PCB 廃棄物の安全、確実な処理及び事故等の未然防止の観点から、処理施設の健全性及び運転・操業の確実性の確保とこれらの維持向上を図るために定期的に内部技術評価（以下、技術評価）を実施することとしている。

1. 内部技術評価制度について

現在、社内の制度としては下記フローに基づいて実施されている。

時期としては、運転開始後6ヶ月後、1年後、以降は毎年実施している。

内部技術評価実施フロー



2. 豊田事業所の内部技術評価結果について

今回は、第2回目（運転開始後1年相当）の内部技術評価を実施した。

(1) 評価実施概要

平成20年3月5～7日にかけて、社内から選任された評価員6名であらかじめ作成したチェックリストに基づき、77項目に関して確認を行い適正に運用されているのか、是正が必要なのかを判断し、事業所に説明し改善についての合意を得た。

(2) 重点評価内容

第1回目の評価時の是正状況の確認とこれまでの異常等に対する対策の継続及び有効性の確認を行っている。

(3) 評価概要

概ねの評価としては以下の通りであった。

○作業者の安全衛生対策に関しては、JESCOと運転会社が一体となってプロジェクト制で取り組み、汚染個所の特定や改善工事及び保護具の管理方法の改善など有効な取り組みを展開しており他事業所でも参考となること。

○高濃度PCBのみならず、雨水、系内排水などを含めて「セーフティネット管理基準」を定めて定期的に点検し、機能の維持管理及びその記録がはかられていること。

今回ベンゼンに関する管理方法を変更したのでこれを加える必要があること。さらにその他の設備や機器に関しても維持管理に関して上記レベルとなるよう継続的な努力が必要であること。

今後これらの指摘に対して改善をはかることになる。